

## 第2回加西市子ども・子育て会議

日時： 平成28年1月18日（月）  
18時28分～19時09分  
場所： 市役所1階多目的ホール

### 1. 開会

### 2. 議題

#### (1)「加西市子ども・子育て支援事業計画」の変更について

(事務局説明)

#### ○会長

今日は議題2件、本委員会として了承を得ることが主目的でございますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。第1番目、「加西市子ども・子育て支援事業計画の変更」につきまして、事務局より再度説明をお願いいたします。

#### ○事務局

冊子の37ページと、資料1-2をご覧くださいと思います。地域子育て支援拠点事業の箇所数の変更で、28年度以降はひろばということで、1カ所増やして6カ所しております。31年度は施設の集約で、ひろばが2カ所減りますが、児童館が1カ所ということで計5カ所となります。

今後、5年間で5カ所であるひろばを27年5カ所、28年6カ所、29年6カ所、30年6カ所、31年ひろば4カ所と児童館1カ所ということで、箇所数の変更をお願いするものです。

1カ所増やすことにつきましては、28年度からは愛の光こども園でひろば事業を提供していただくということと、31年度については施設の一部を新たに児童館として集約し、子育て支援を行うための核となる施設を設置するというございます。

これについては、県にも協議し、その説明を行っています。今のひろばが地域の公民館や休園中の幼稚園を利用しており、市街地や多くの皆さんがアクセスしやすい場所に施設を設置したいということがその理由であります。愛の光こども園では、新たなこども園という施設で、誰もが利用できるひろばを設置していただくことができます。また、市の施設においても地域のひろば事業を集約し、市街地に児童館として整備することで充実を図ることができます。現在、このように協議をお願いしているところであります。

#### ○会長

ありがとうございました。加西市のインフラ環境を総がかりで充実していくということで、拠点として5カ所あり、プラスαで、愛の光に参画していただくという気持ちのよい提案だと思っておりますが、これに対しての疑義等々ございますでしょうか。ご質問があれば承りまして、最終的に皆様方に判断をお諮りしたいと思います。

#### ○A委員

前回、認定善防こども園がひろばを開設していることを初めて知りました。この何年かで、加西市の子育ての環境が整ってきて素晴らしいと思います。昔はそうではなかったけれど、今ではイベントも多く、今日は何をして過ごそうかと毎日忙しいくらい楽しませていただいています。

しかし、善防こども園については私も初めて知って、私だけかなと思って、何人かに聞いてみたら誰も知らなかったんですね。ひろばの先生に聞いても、知っていらっしゃらないようでした。

28年度から愛の光こども園で、誰もが利用できるひろばということですが、それが皆さんに知られていないとなると、もったいないと思います。

それから、あちこちでいろんなイベントがありますが、かなりイベントが重なっていますね。「こっちも行きたいけれど、ここを申し込んでしまって、どっちも行きたかった」という方は多いです。

ひろばが増えると、そういった連携が必要で、全てのこども園や施設が連携していただいて、イベントが重ならないようにしていただけると有難いです。

少子化の影響でひろばを利用する人数は減ってきて、保育料が無料化になると、早い時期から保育所に通う子どもが増えるので、さらにひろばを利用するお母さんも減っていくと思います。そうになると、やはり土日、祝日の利用を考えていくことも必要だと思います。利用する人が減っていくままでは、いろんな催しがあっても、もったいないなと思います。

西脇市に「Miraie (ミライエ)」という施設ができて、加西市からも行きやすく、何回か行っているのですが、加西市のお母さんにたくさん出会います。やはり、行くのは土日なんですね。「ねひめキッズ」も土曜日の午前中は開きますが、昼からになると行くところがない。しかし、「Miraie」の施設へ行けば、そんな方も家族で多く利用されていました。

小学生もたくさん来て、中学生や高校生も勉強等で、学習施設はいっぱいでした。図書館は静かで勉強がしやすい所ですが、場所も限られますし、年末年始も休みだったりするので、加西市の児童館も18歳くらいまでの子どもが利用できるよう考えていただければ、とてもありがたいなと思います。個人的な要望とか、周りから聞いた話ですが、考慮していただければと思います。

#### ○会長

ありがとうございました。本委員会ではそこまでの検討の課題はございませんが、委員長としては貴重なご意見を4点いただいたと思います。

まず、広報活動をきちっとしなさいと。住民の方に、市民の方に周知、伝わるということがまず第一であると。それから、決して子どもの分捕りではなくて、特定の拠点や、ばらばらではなくて、上手にプログラム内容を重点化しながら、時期も内容もすみ分けながら開くといった部分、それからもう一つは、それと関連しますが、土曜、日曜といった利用者側の利便性を考えたプログラムの実行ということ、それから、もう少し年齢を広げて多世代の子どもたちの交流の拠点となっていくようなところが考えられるかどうかということでもあります。

これは、本委員会ではなく、市の方で拠点を実質稼働させていくための課題だということで、記録をとっておいていただければと思います。貴重な意見、ありがとうございました。

いつでも、誰でも、どこでもといった、ユニバーサルデザインというか、そういった観点からの今後の子育て支援環境をどうつくっていくかというご意見をいただいたと感じます。ありがとうございました。

#### ○B委員

先ほどの説明の中にあつたように、今年度4月から子育てひろばの拠点事業に加えさせていただきます

いております。それで、今言われたような内容も加味しながら、いろいろと今準備中です。

その中で、市に対して方向性をお尋ねしたいと思うのですが、この児童館について今、アンケートで、いろいろな市民の方の声を聞かれて、どういう形のものになるのか私たちも楽しみにしているところです。現在、保育所やこども園等、市の中にいろいろ施設があると思いますが、その中で手立ての必要な子どもたち、支援の要る子どもたちが年々増えていると思います。そういう研修会に行きましたら、市内の保育所やこども園、幼稚園からたくさんの先生方がお集まりになります。

そういう現状が今見えていますので、私どもの園でもいろいろ課題がありますが、各園に加配の先生を配置するということは、保育士も不足している中、人件費の面においても厳しい部分があります。同じ学年で手立てが必要な子どもが、2人いれば2対1で、加配の先生がつかますが、学年が違いますと一人ずつ加配の先生が必要になるといった問題に直面しています。今後もそういうケースが増えてくるんじゃないかなと思います。

なかなか入園が決まらない方もありますので、そういったところも踏まえて、児童館で手立ての要る子どものことも考えながら、加西市としてどのように拠点を置くのかということも、念頭に置いていただければと思います。

○会長

ありがとうございました。特別支援教育というのはきちっと制度化され、加西市は非常によくやっていることは私も承知しております。ただ、小学校からではなくて、小学校に接続していく幼児期の教育・保育の段階において、そういう現実があるということで、今いろんな形で幼児期のインクルーシブ教育の必要度が非常に増しています。加西市も例外ではなく、今後インクルーシブという観点からの支援体制を求めるといふ、そういうご意見としてお聞きしたらよろしいでしょうか。

○B委員           はい。

○会長

加西市としてもただ箱物だけじゃなくて、子どもたちの自立に向けた、あるいは一歩二歩でも自分たちで歩めるような、そういう支援をしていくようなスペシャリストの配置ということも緩やかに考えていただきたい。今までも取り組んでいるとは思いますが、今まで以上に具体性をもって取り組んでほしいと、こういう要望だと思います。これは全体として市にお預けする課題だと思います。貴重なご提案だと思いますので、記録にとどめておいていただければと思います。

他にこの計画の変更について、ご意見等ございますでしょうか。いろんなソフトの中身の問題については、今後の課題となりますが、大きな枠組みづくりの中で、今回の変更点をお諮りしてよろしいでしょうか。もし疑義がなければ、一応この委員会では了承したということを受けとめてよろしいでしょうか。

[各委員から異論なし]

○会長

それでは承認ということで記録をとってください。

## (2) 保育料の改正について

それでは、続きまして協議事項の2番目ではありますが、お金絡みのところ、保育料の改正についての協議であります。この件について、これまでの提案をもう一度説明していただいて、本委員会で諮りたいと思います。お願いします。

#### ○事務局

前回の資料2-1と2-2をご覧ください。2-1は現状の保育料、2-2は改正する保育料(案)です。4歳、5歳に限りますが、現状の保育所保育料2万円の上限について、5千円として段階的に設定しております。幼稚園の保育料は、月額5千円を0円に設定しています。無料化につきましては、前回の説明どおり、一度に全部無料化するの難しい問題がありますので、4歳、5歳に限定することになります。

それから、無料といたしましても必要最小限度の例えば給食代とか教材費といった実費を一部ご負担いただくという考え方に立ち、給食費等の相当額ということで、月額保育所保育料を5千円、幼稚園保育料は0円になります。幼稚園では、月額保育料以外に給食代、教材費がございます。公立幼稚園では4千円程度になります。

教育と保育の両方で、4、5千円の負担ということで、新たな保育料を設定しました。あくまでも基本保育料の軽減であり、給食代その他の費用については各園で徴収する金額でありますので、それについては軽減の対象とは別と考えております。

それから、前回A委員から、2子、3子が小学校へ上がると第1子としてカウントできないという話がありまして、その後、国において、若干そのあたりの緩和が図られるという話を聞いています。それもあわせて報告させていただきます。

#### ○会長

ありがとうございました。今日の参議院の国会審議でも今の話題がありました。加西市も独自ではなく、国や県と連動しながら実施しているということですので、その辺りは手堅く進められるんじゃないかなと思います。なお、我々も市民として注視しておかないといけないと思います。

保育料についてはどうですか。今回の改定で、気持ち的にはもう全て丸抱えで0円が一番いいと思いますが、保護者としてはいかがでしょうか。

#### ○C委員

大変助かりますが、3歳児とか小さい学年ももう少し安くなったらありがたいです。

#### ○会長

0円が一番いいですね。ただ、最終的な子育ての責任は家庭にあるというのが県や国の前提でありますので、全て丸抱えでは、親の子育て意識をあまり強めるものにはならないと、一方でおっしゃっております。やはり親も苦勞し、もちろん地域も苦勞し、みんなが子育てに関心を持って、みんなが気持ちを寄せて知恵を絞って、それぞれの応分の負担をしながらやろうよということになりますけれど、しかし、もう少しという意見はあります。記録しておいてください。

財政当局では、今の税収が倍ぐらいあったらやりますよね。どうですか。財政投資は大変だと思いますが。

#### ○総務部長

そうですね。現在の制度では、保護者からいくら徴収するべきかという国の基準があります。その割合を加西市では大体7割ぐらいの率に下げています。国が10割徴収しなさいと言っているのを3割軽減して、7割分で保育料をもらっているという現状があります。ある程度は加西市の中でやれる範囲で軽減を行っているということなのですが、それを今度はさらに4、5歳以上を5千円程度に軽減しますと、保育料が約8千万円程度の収入が減ります。市の持ち出しということでは、8千万円の負担増となります。

その財源はどうするかという話ですが、これは市政全体の運営の中で、市政というのは幅広いものでして、赤ちゃんが生まれてから死ぬまでと、学校や道路やたくさんの事業をやっていますので、その中でやりくりしながらやっていきたいということです。無料化は0歳も含めて実施することは理想ですが、今の加西市の力量と国の基準も含めて考えると、なかなかそこまで踏み切れないので、一歩でも二歩でもということで、ご理解いただきたいと思います。

#### ○会長

国の基準よりもさらに加西市では、市民に対して手厚くしているとおっしゃっています。市長も非常にこの課題については熱く語られます。財政担当でやりくりするとおっしゃっていますが、どこかで8千万円を捻出、調整されると思いますので、そういったところで受けとめていただけますでしょうか。負担率というものをすごく下げたいという事は、私もいろんな市町を見ながら実感しているところです。

他にご意見どうでしょうか。もし、特段ないようでしたら、お諮りしたいと思います。この保育料の改定に関しましていかがでしょうか。市の提案を受けるということでよろしいでしょうか。

[各委員から異論なし]

#### ○会長

よろしいですか。それでは、そのようにご判断いただいたということで、記録をとってください。

皆様方のご判断いただくという議案はこの2件であります。この他に事務局から今後の方向性とか取り扱いとか連絡事項はございますでしょうか。

#### ○事務局

料金について補足します。資料2-3で幼稚園の一時預かり保育料を明記しておりました。今回、教育利用も保育利用も基本保育料が下がりましたので、それにあわせて一時預かり保育料についても、幼稚園と保育所の負担を合わせるために、若干ですが、一時預かり保育料の500円、1日単位の金額ですが、これについても軽減したいということで、現在、検討を進めています。

#### ○会長

それは検討にとどまりますか。具体的なスライドできちっと調整していくという大前提での検討ですか。

#### ○事務局

保育料をこの会議で、皆様の承認をいただきましたので、それにあわせて一時預かり保育料につきましても、あわせて軽減を図りたいと考えております。

○会長                   それも含めて、先ほどの保育料の改訂を承知しましょうか。よろしいですか。

[各委員から異論なし]

○会長

ありがとうございました。その他、事務局からありますか。これについて決定過程というのは、議会を通すとか、どうなりますか。

○事務局

今回、承認いただき、来年度の予算にこの新しい保育料で議会へ報告したいと思います。その議会への報告の際に、加西市の保育料の一部無料化を発表したいと思います。

○会長

わかりました。ぜひ、本委員会で決定したことについて、非常に良識ある判断だと思いますので、これで終わりではなく、市民一人ひとりの責務として議会の成り行きを見ておくということ、ぜひ求めていきたいと思います。

○教育長                   これは規則委任しておりまして、予算全体の中で審議されます。

○会長                   わかりました。

○事務局                   一時預かりの保育料だけが条例です。

○教育長

その分が議会に出ます。予算とこの一時預かり保育料が条例案件ということで審議が行われます。その後にPRということになります。

○会長

ぜひ、良い方法でプロモートしていただければと思います。お願いします。それでは、これで終わりますでしょうか。事務局にお返しします。

3. 閉会                   教育長 あいさつ

了